

Linkage

2026
Autumn
Vol. 26



トピックス

日頃より当法人の運営にご支援・ご協力いただき、関係者の皆様には感謝申し上げます。

リンケージでは、ホームページ内にありますブログで毎週「みんなしりたいリンケージ今週のひみつ」と題しまして、各事業部の近況やお知らせを更新しています。会報誌ではお伝えしきれない日頃の活動の様子やスタッフの思いなどをつづっております。また、スタッフによるインスタグラムでもご利用見様の作品や活動の様子が見られます。会報誌とあわせてぜひご覧ください。



2 活動報告

早いもので今年度ももう半分が過ぎました。ご利用の皆様と共に過ごした夏の活動を各事業部より報告致します。

啓蒙活動

■インクルーシブな学校を目指して

子どもは一人ひとり、得意なことも苦手なことも、学び方も、安心できる環境も違います。インクルーシブな学校とは、そうした違いをなくすのではなく、違いがあって当たり前と考え、すべての子どもが安心して学び、学校生活を送ることができる学校です。

そのためには、子どものことを一つの側面だけから見のではなく、学び方、行動、人との関わり、発達、心身の状態、生活の様子、周りの環境など、さまざまな面から理解することが大切です。そして、学校だけで悩みを抱えるのではなく、それぞれの専門性をもつ人が力を合わせ、子どもに合った支援や環境を考えていくことが求められています。

今年度からリンケージでは、これまで子どもやご家族への支援を通して培ってきた知識や経験を生かし、外部専門家として市内の小学校のインクルーシブな学校の取組に参加しています。子どもの行動だけを見てできる・できないと判断するのではなく、その子は何に困っているのか、どのような環境なら力を発揮できるのかを先生方と一緒に考えています。子どもを変えるのではなく、子どもが力を発揮しやすい環境を一緒につくること。それが、私たちが学校に専門家として関わる役割だと思っています。

児童発達支援

■子育てサポートday 『そらまめ夏祭り』

夏の季節を感じながら、普段とは少し違った雰囲気の中で楽しめるよう、夏祭りを開催しました。当日は、夏祭りの雰囲気を感じられる飾りつけを行い、子どもたちはお母さんと一緒に屋台を楽しみました。自分の好きなものを選んだり、職員やお友だちとやりとりをしながら活動したりする中で、楽しそうな笑顔がたくさん見られました。

今回の活動では、季節の行事に触れることで季節感を味わうことや、普段とは異なる活動の中で見通しを持って参加することをねらいとしました。また、「どれにしようかな」と自分で選択したり、職員やお友だちと一緒に活動したりする経験を通して、自分の気持ちや思いを表現することや、他者との関わりを楽しむことにもつながっています。さらに、食べ物を選ぶ、自分で作る、食べるといった一連の活動を経験することで、手先を使う操作や生活経験を広げることもつながりました。子どもたちはそれぞれのペースで夏祭りを楽しみながら、普段とは異なる活動にも興味を持って参加することができました。



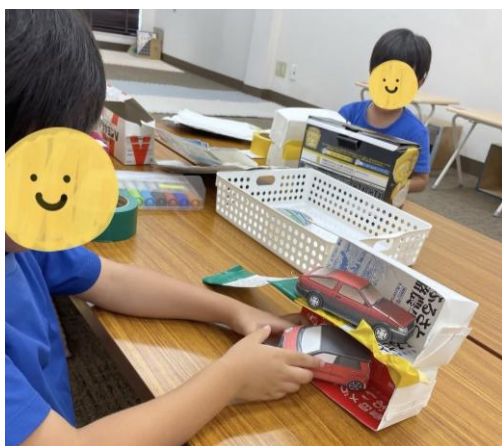
■ジオラマ作りに挑戦！

午後のクラス「にこそら」では、身近な素材である空き箱や廃材を使って、ジオラマづくりに取り組みました。子どもたちは、さまざまな形や大きさの空き箱を使って建物や道路を作り、「ここに道路をつなげよう」「ここに車を走らせよう」と、それぞれにイメージを膨らませながら制作を楽しみました。

今回の活動で使用した車は、就労支援に通っている生徒さんが制作したものです。生徒さんが一つひとつ作った車を使って、子どもたちは道路を走らせたり、街の中を自由に動かしたりしながら、楽しそうに遊んでいました。自分たちが作った街に、誰かが作った車を走らせることで、「作る人」と「遊ぶ人」がつながり、一つの作品を通して交流が生まれる機会にもなりました。

また、素材を選んだり、形を組み合わせたりする中で、手先の操作や構成する力を育むこと、自分のイメージを形にしながらかえたことを表現する力や、試行錯誤する力を育むことをねらいとしました。

子どもたちは、就労支援の生徒さんが作った車にも興味を持ち、遊びを通してその作品に触れることができました。それぞれの場所で作られたものが子どもたちの遊びにつながったことで、事業所内のさまざまな活動のつながりを感じられる、素敵な時間となりました。



放課後等デイサービス

■夏休みの思い出

夏休み期間中、そらまめでは水遊びや調理実習、外出活動など、さまざまな活動を行いました。それぞれの活動を通して、子どもたちは楽しみながら新しい経験を重ねました。

水遊びでは、プールの中でゆっくりと水の感触を楽しむ子や、水鉄砲や水風船を使って、友達やスタッフとのやり取りを楽しむ子など、それぞれのペースで活動に参加していました。水風船作りでは、初めは難しさを感じていたものの、繰り返し取り組む中でコツをつかみ、一人で作れるようになる姿も見られました。水遊びを楽しむだけでなく、自分で試しながらできることを増やす機会にもなりました。



調理実習では、餃子作りに取り組みました。キャベツを切る、餡を作る、皮で包むなど、それぞれの工程に挑戦しました。細かく切ることや餡を包むことに難しさを感じる場面もありましたが、スタッフに確認したり自分なりに工夫したりしながら最後まで取り組む姿が見られました。完成した餃子をみんなで味わい、友達との会話も楽しみながら食事をしました。

また、スカイランドパークへの外出では、友達と相談しながら乗り物を選び、一緒に活動する姿が見られました。特にゴーカートは人気があり、何度も乗って楽しむなど、友達と同じ活動を共有する時間となりました。

夏休みのさまざまな活動を通して、子どもたちは好きなことを楽しむだけでなく、友達と相談すること、初めてのことに挑戦すること、自分なりの方法を見つけることなど、多くの経験を積むことができました。

これからも一人ひとりの興味やペースを大切にしながら、さまざまな経験につながる活動を行っていきたいと思います。



■ ソーシャルスキルクラブ

楽しかった夏休みもあっという間に終わり、気付けば9月になりました。

今回は、8月22日に参加した「技能祭」についてご報告いたします。技能祭は、さまざまな分野の「匠の技」を紹介したり、実際に体験できるお祭りです。今回はみんなで高崎市役所前広場へ出かけ、事前に作ったオリジナルのスタンプラリーを持って参加しました。

会場には、キーホルダー作りやミニ畳作り、自動車エンブレムの配布、和裁作品の販売など、普段なかなか触れる機会のないものがたくさん並んでいました。

食べ物のブースもあり、とある班では「かき氷、ポテト、ジュース、チョコバナナ！」と、食べ物を次々と制覇していく姿も（笑）。一方で、スタンプラリーのコンプリートを目指して、ほぼすべてのブースを体験して回る「体験王」もいました。それぞれが自分の興味のあるものを見つけ、思い思いに楽しんでいる様子が印象的でした。

これまで、そらまめの活動で地域のお祭りに参加する機会はありませんでしたが、今回参加してみたことで、スタッフも技能祭がどのようなイベントなのかを知ることができました。そして何より、子どもたちにとっても「こんなお祭りがあるんだ！」と新しい経験になったのではないかと思います。

地域の方と関わったり、普段とは少し違う場所で過ごしたりする中で、子どもたちにとっても良い経験になった技能祭でした。来年もまた参加できたらと思います。



就労移行支援・就労定着支援

■就職支援、さまざまな支援機関と協力して動いています

リンケージでは、様々な機関と連携して就職支援をおこなっています。最近の動きとしては、障害者職業センターで、職業評価を受けて、ご本人の適性の理解を深めてみることに。リンケージ以外の機関で作業をしてみることで、慣れた場所でない場合どのような様子が見られるかなども参考になります。また、群馬県がおこなっている職場開拓事業の開拓員さんとの面談で、ご本人に合う条件で職場を探してもらったりもしています。様々な機関とつながることで、よい出会いが生まれることが多々あります。リンケージでは「つながり」を大事にして支援をおこなっています。

■高崎警察署の署員さんより闇バイト・特殊詐欺に関する講話をいただきました

就労移行支援リンケージでは、8月7日に、高崎警察署から署員さんをお招きして、闇バイトと特殊詐欺に関する講話をしていただきました。

最初に闇バイトについての動画を視聴し、闇バイトを軽い気持ちで始めることの恐ろしさを学びました。次に、ニセ警察官詐欺の特徴や手口、怪しい電話がかかってきたときの対処法を教えていただきました。参加者の皆さんは、頷いたり、ときにはメモを取ったりしながら、高い関心を持って話を聴いている様子が印象的でした。

群馬県警察公式防犯アプリや警視庁推奨特殊詐欺対策アプリなど、防犯に役立つアプリもいくつか紹介していただきました。学びの多いすばらしい講話でした。



相談支援

■更新時の「サービス担当者会議」について

日頃よりリンケージの相談支援をご利用いただき、誠にありがとうございます。受給者証の申請や更新、モニタリング、担当者会議など、いつも貴重なお時間をいただき感謝申し上げます。今回は「更新時のサービス担当者会議」についてお話しさせていただきます。この会議は、国のガイドラインでも適切な支援を行うための大切なステップとして位置づけられているものです。更新時の担当者会議は、お子さま（ご本人）の成長や生活の変化に合わせて、「これからのサポート方針」を関係者全員で揃える大切な時間です。この1年間で「できるようになってこと」や「新しく出てきた課題」を、ご家族・相談支援専門員・事業所の担当者が集まって共有します。日頃の困りごとや生活の変化を振り返り、「どんな支援を続けるか」「利用回数は適切か」を話し合うことで、今の状況にぴったりの支援計画へと見直すことができます。

ご家族やご本人の「こうなりたい」「ここで悩んでいる」という気持ちを直接事業所に伝え、支援チーム全員で同じ目標に向かって協力していくために、とても重要な機会です。

直接顔を合わせて言葉を交わすからこそ伝わる安心感や新しい発見があると考えております。どうぞご理解とご協力をお願いいたします。

なお、受給者証の更新やモニタリングのご連絡については、これまでどおりメールでご連絡させていただいております。スムーズにご案内をお届けするため、メールアドレスのご登録・変更がございましたら、ぜひお知らせください。よろしくお願いいたします。

3 情報提供

この欄では毎回皆様が皆様らしく生きるためのヒントとなるような情報などをお伝えできたらと思っています。

～専門職のご紹介 Part 2～

リンケージでは、様々な資格を持った職員が働いています。中でも、作業療法士、心理士、社会福祉士などは、聞いたことはあるけれど、何をする人なのかよくわからないという人も多いのではないのでしょうか。そこで今年度は、それぞれの専門職が何をする人なのか、わかりやすく解説できればと思います。今回はその第二弾です。

★社会福祉士

社会福祉士はSW（Social Worker）と呼ばれる、福祉制度や社会の仕組みを理解、活用することで生活を支える国家資格です。身体的・精神的・経済的に日常生活に支障のある人やその家族の相談に応じ、どんな困りごとがあるのか、どんな支援が必要なのかを整理します。そして、問題解決のために必要な制度やサービスを紹介します。様々な関係機関と連携しながら、支援の調整役として働くことも多い職種です。

★介護福祉士

介護福祉士はCCW（Certified Care Worker）とも呼ばれる、介護に係る一定の知識や技能を習得した国家資格です。介護ニーズのある方の心身の状況等を理解し、その人らしい生活を継続していくためにはどのような課題があるか考えたうえで、一人ひとりに合わせた適切な介護を提供します。また、本人やご家族の窓口となり、他施設との連携も行いながら、介護が必要な状況でも安定した社会生活と対人関係が築けるようサポートします。

★精神保健福祉士

精神保健福祉士はPSW（Psychiatric Social Worker）やMHSW（Mental Health Social Worker）とも呼ばれる、精神障がい者に社会復帰の助言や相談、訓練、指導などをおこなう国家資格です。精神障がい者の保健や福祉に関する専門知識・技術を活かし、多職種と連携しながら、問題を解決したり、その人と社会をつなぐ役割を担っています。その人自身の思いを大切にしながら、その人らしい生活について一緒に考え、実現をサポートします。



これからもリンケージをよろしくお願いします。

発行日 2026年 10月 1日 発行
発行元 NPO法人 リンケージ
TEL : 027 - 345 - 7390

群馬県高崎市江木町 979 - 3

FAX: 027 - 345 - 7391 <http://www.npo-linkage.net/>